

環境保全行動  
自動車使用管理実施 報告提出書

2025 年 8 月 20 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所  氏 名  (代表者名)	〒 001-0032
	札幌市北区北32条西5丁目2番12号
	開発産業 株式会社
	代表取締役 平 原 寿 美

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 第23条第3項の規定により、環境保全行動  
自動車使用管理実施 報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日					
事業 の 規 模	従業員数	10	人	原油換算した	37.6	kl	
	使用床面積	75.3	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	10	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	98.6	t-CO <sub>2</sub>	メタン	N <sub>2</sub> O	HFC
		非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	PFC	SF <sub>6</sub>	NF <sub>3</sub>
報告書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第13条（環境保全行動計画）			<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第3項		
		条例第23条（自動車使用管理計画）			<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項		
計画期間		2023 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備 考							

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

【報告期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標 削減 率	2023年度結果			2024年度結果			2025年度結果		
			実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果	実績数値	削減 率	結果
事業活動での二酸化炭素排出量削減	7.3	2	6.28	14	○	6.53	11	○			
	t	%	t	%		t	%				
自動車の二酸化炭素排出量削減	96	3	90.4	6	○	92.1	4	○			
	t	%	t	%		t	%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
事業活動での二酸化炭素排出量削減	○	週休二日制(土日祝の事業所の利用を制限した)の徹底により削減を図る
自動車の二酸化炭素排出量削減	○	エコモード活用・エンジンブレーキ活用を積極的に指示した。